

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.672

2025年3月28日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

~~Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION~~

経営協議会を開催

令和7年度運営方針について議論

~~Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION~~

3月28日、経営協議会を開催し、「令和7年度運営方針」、「JR東海グループの『ありがたい姿』～30年後の未来に向けて～」について会社から説明を受けた。

先般公表されたJR東海グループの「ありがたい姿」は、経営理念と運営方針をつなぐ役割を果たし、変化の激しい時代において困難な挑戦をぶれることなく進めていくための「目標地点」を当社グループ全体で共有するため、いわば羅針盤として活用することを想定して策定したものとの考えが示された。

運営方針では、引き続き、全ての施策の大前提となる安全の確保を最優先として経営体力の再強化に取り組むことや、当社グループの「ありがたい姿」を踏まえて「自由に考え、大いに議論し、粘り強くやり抜く」という企業文化を作り上げ、過去のやり方に捉われることなく前例のないことにも挑戦しながら、中長期的な観点で各種施策を力強く推進すること等が示された。

議論では、「ありがたい姿」について、人財こそが最大の経営資源であり、次の30年を支える主役も人財であることは変わらないこと、そして社員の能力向上と技術力の向上により、社員一人ひとりの生産性を高め、企業としての業績を向上させ、社員への還元を実現し、企業も社員も共に成長し続けていくという好循環の実現を目指していくことを確認した。

また、重点施策の各項目について、施策趣旨や具体的な内容について詳細に確認するとともに、総対話行動等で寄せられた組合員からの声を踏まえた議論を展開した。議論を通じて、施策実現のためには、日々労使が忌憚のない意見交換、充実した議論を積み重ねることが大事であり、労使双方がそれぞれのパイプで現場の声を吸収し、問題は問題として議論し、一つ一つ解決していくことが大事であることを改めて確認した。

今後も「将来宣言」の趣旨に基づく労使関係をより一層強固なものとし、将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せの実現に向けて、不断に労使交渉・協議を展開していく。

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。